

2014年度（平成26年度）事業計画

基本方針：くまもと障害者労働センターの目指すもの

- (1) 障害者差別をはじめあらゆる差別を許さず、差別をなくす活動を進める。
- (2) 障害のあるなしだけにとらわれず、様々な困難を抱える人も含め、誰もが共に働くことができる場を創造する。福祉的就労でも一般就労でもない新たな労働の場として社会的事業所の可能性を拓く。
- (3) 働く現場を単に生きがいや作業体験の場に終わらせることなく、収益性のある事業を創出し、労働権の確保や一定の所得保障を進める。
- (4) 誰もが地域の中で当たり前暮らすことができる共に生きる社会を目指す。

運営の目標

2014年度の目標として、私たちが取り組みたいことを列挙すると下記のようになります。

- (1) 共同連全国大会熊本大会の成功と社会的事業所運動の高揚

2014年9月13,14日、熊本学園大学にて第31回共同連全国大会熊本大会が開催される。労働センターでは、本大会の事務局となり大会の成功とともに熊本そして九州の各団体、個人との連帯を深め、熊本、九州から社会的事業所運動の高揚を目指す。

- (2) 共に生きる社会づくり

2014年度より新たに相談支援事業と公益事業（住宅の提供及び確保する事業）を開始する。両事業ともに、障害のある人が地域の中で当たり前暮らしていくことを応援することを目的としている。本事業を通して、一人でも多くの方が地域の中で自分らしく生きていく社会をつくれます。

- (3) 収益性のある事業の確立

2013年度は障害者優先調達推進法を活用した営業、宵カフェ、ギフト商品の充実に取り組み、徐々に事業として確立してきた。2014年度も引き続き事業として継続させるだけでなく発展を目指す。また、現在の事業所のスペースは現状としても手狭となっている。新たな事業を展開するにあたり、事業所外での仕事についても検討を進める。

以下、各事業の事業計画を報告いたします。

【販売部】

訪問販売は月毎に皆で売上目標を掲げることで、徐々に売上も伸び、販売員各自の販売に対する意識の向上につながった。2013年度はギフト商品と優先調達推進法を活用したトイレットペーパーの営業に力を入れ、事業として確立しつつある。

下記；売上状況と見込み

※ギフト商品

		2013年度		2012年度	
5月	こどもの日	100個	50,000円	取り組みなし	
7月	サマーギフト	110個	220,000円	取り組みなし	
9月	敬老の日	43個	43,000円	取り組みなし	
10月	オータムギフト	41個	28,000円	取り組みなし	
	ハロウィン	183個	91,500円	取り組みなし	
12月	クリスマス	242個	121,000円	取り組みなし	
	ウインターギフト	130個	247,000円	35個	87,500円
1月	福袋	20個	10,000円	取り組みなし	
2月	バレンタインデー	378個	236,000円	400個	147,600円
3月	ホワイトデー	目標300個	150,000円	230個	115,000円

※トイレットペーパー

昨年度 264箱

本年度（1月まで）364箱 35箱/月

170箱、640,000円の売上増が見込まれる

2014年度の販売部での取り組み

- (1) 新年度の始まりにトイレットペーパーのチラシと案内文を添えて関係機関へ郵送する。新規取引先の開拓を進めることで事業としての定着を目指す。
- (2) 訪問販売に加え、定期的に販売できる販売先の確保やカタログ販売を検討し、安定した収益を得られるようにする。
- (3) 運転が出来る販売員の募集を行い、売上の維持・向上を図る。また、助成による福祉車両（軽・車イス乗車可能なもの）の増台を目指す。
- (4) 円滑に仕事ができる環境を整える。
 - ①作業場のシンクが手狭なため、給食の後の片付けに時間がかかり仕事開始時間に遅れる。シンクを広いものへと取り換えることで作業能率のUPを図る。
 - ②雨天時、車両への販売物等の積み下ろし、1階と2階への移動など通路に屋根がないため雨に濡れてしまう。また、雨天時には製造厨房横から出入りしているが衛生面も考慮し、外の通路に屋根を造る。

【製造部】

昨年度に引き続き、ギフト商品、期間限定商品を開発し自社製品の幅を広げ安定した収益を目指す。そのために以下の事業計画を挙げる。

- ① ギフト等の新たな仕事が増えるにあたり厨房の環境の整備（厨房内のシンクの取り換え）、備品の見直しを行う。
- ② 昨年度、期間限定商品で好評だった商品を定番商品化（フロランタン）し、新たな自社製品とする。また、文化祭など、販売先に合わせた商品を企画する。
- ③ 他の部署と連携をとる。

販売部：合同の会議の継続

カフェ：ドリンクと一緒にだすお菓子を製造し、顧客獲得につなげる。

IT：作業工程やギフトの集計などのデータ化

また、各種食品関係の研修に積極的に参加を行う。

【交流事業】

労働センターの特徴でもある学校等を訪問しての講演活動は、ここ数年、年間約30件で横ばいの状態である。障害者差別をはじめあらゆる差別をなくし、誰もが地域の中で働き生きる社会づくりを目指す私たちの活動で、最も重要な事業の一つである。2014年度は交流事業を発展させるため、以下のことに取り組む。

2014年度の取り組み

- ① 現在、講演をできる人材が不足しており、新たな人材の育成と確保を図る。
- ② 実績のある所を中心に継続した依頼を呼びかける文書、新規依頼の獲得を目指したチラシの作成を進める。
- ③ 講演資料の充実を図る。
- ④ さまざまな反差別に取り組む団体との連帯と連携
 - ・長嶺・託麻地区の「障害児の親の会 虹色の会」
 - ・24時間介護保障を求める会 など

【IT 部】

2014 年度は、IT 部として再編して 3 年目を迎える。13 年度は体調管理、各々の得意分野を伸ばすことを基本目標とした。各々の個性がはっきりとし、名刺組版担当、チラシデザイン担当、文字組版担当、エクセルやデータベース等の事務系担当、ブログ担当などの役割分担が自然にできてきた。お互いの得意分野を認め補いつつ、スキルアップの意欲が増しているのを大切にしたいと考えている。そのため、今後各々に応じた仕事を常に準備しつつ、同時に、複数の人数で部として一緒に取り組めるようになることで、売上アップにもつなげていく。

13 年度は各部と連携してセンター内の PR 活動をサポートし、情報発信力を高めることを主としたが、製造部のギフト企画に合わせたチラシや発送リスト作成、カフェイベントの PR 及び資料作成、With の季刊発行、ブログの継続など一定の成果をあげたものの、商品カタログ、交流パンフ、カフェグッズ等、14 年度に持ち越しの案件もある。

ホームページの容量を増やしたので、印刷物とともに、ホームページ上での販促・情報発信力の充実を 2014 年度の主な課題として取り組む。

【CAFÉ 部】

昨年度は、一般客の集客を目標に、固定メニューの決定や環境整備、スタッフの仕事の割り振りを行う事で、固定メニューの安定した提供やスタッフが安心してお客様を迎える準備をすることができた。

また、地域の中で当たり前暮らすことを応援しようと 4 月より宵 CAFÉ(毎週木曜)を開始。楽しい食事の場を提供できたが、来客がやや固定してきた。現在のお客様の多数が、イベントや講演、交流会を通して CAFÉ を知り来店されている。

そこで本年度は、現行イベントを中心に内容の充実とより多くの人に「くまもと障害者労働センター」の活動を知ってもらえる場所作りを目標に以下の事を行う。

① イベントの充実

- ・昨年度のイベントを通し必要だと感じた機材の導入を行い、イベントがスムーズに行える環境を作る。
- ・新たなイベントを企画する。

② 広報

- ・IT 部と協力してチラシの作成を行い、販売部と一緒にチラシの配布を行う。
- ・看板やのぼりの設置。

③ 環境整備

- ・掃除道具の収納場所の確保。
- ・リースエアコンの更新と清掃(業者対応)。